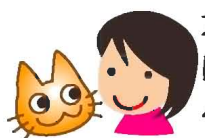


日頃の体調をよく観察しましょう



犬やねこの日常の健康状態、たとえば、目の輝き、毛のつや、食欲や食べる量、フンや尿の状態などを毎日よく観察しましょう。



食べなれていないフードを与えると、食欲の低下や、吐いたり、下痢をしたりすることがあります。新しいペットフードに切り替えるときには、これまで食べていたものに混ぜて、少しずつ割合を増やしていくようにしましょう。



食欲がない状態や下痢が何日も続くなどの異常がある場合には、すぐに獣医さんに相談しましょう。ペットの健康状態を把握するために、定期的な健診を受けることも必要です。予防接種の履歴や、病歴などをよく理解しているかかりつけの獣医さんがいると安心です。

**適切なフードを与え、
ペットの健康と安全を守るのは、
飼い主の責任です。**

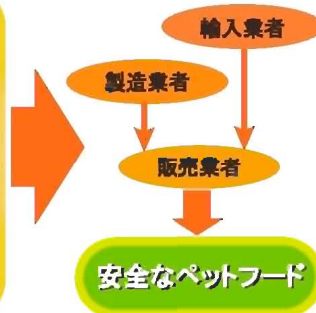


ペットフードの安全性の確保のために 事業者も法律で規制されることになりました。

- ◆2008年6月、ペットの健康を保護するため、「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）」が成立しました。
- ◆ペットフードの製造業者、輸入業者及び販売業者は、この法律に基づき定められる基準や規格を守る責任が生じます。
- ◆この法律は、公布から1年以内（2009年6月まで）に施行することとなっています。

国による規制

- ・国が設定する基準規格への違反を禁止
- ・有害な物質を含む製品の製造・輸入・販売を禁止
- ・問題が起きた場合の回収や廃棄等の命令（監視体制）
- ・国等による立入検査等



農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課
環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

発行：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
HP：<http://www.env.go.jp/nature/doubutsu/algo/>
作成：（社）日本科学飼料協会
協力：ペットフード工業会
ペットフード公正取引協議会
日本ペット栄養学会
編集・デザイン：つしまみかこ

その食べ物で 大丈夫？

あなたは、一緒に暮らしている犬やねこに必要な栄養のことをどのくらい知っていますか？
間違ったフードの選択や与え方が、知らず知らずのうちに、あなたの大切なペットの健康を損ねているかもしれません…

